（第3種郵便物認可）　新聞定期 1カ月 6カ月 1年

日刊建設工業新聞　購読とあわせてWebサイトをご
オープンサイト　http://www.decn.co.jp/
会員制サイト　http://www.kensetsu-it.com/
お問い合わせ先
購読に関すること　TEL 03-3433-7152　FAX 03-343
広告に関すること　TEL 03-3433-7154　FAX 03-343
記事に関すること　TEL 03-3433-7161　FAX 03-343
情報お寄せください：mail-ed@decn.co.jp

THE DAILY ENGINEERING & CONSTRUCTION NEWS
日刊 建設工業新聞
2013年（平成25年）
12月10日
火曜日
第18361号

発行所　©日刊建設工業新聞社　2013　〒105－0021　東京都港区東新橋2－2－10　電話03(3433)7151　URL:http://www.decn.co.jp/

林業と連携　新たな防災教育

兵庫・宍粟市の一貫校

地元産杉で木造仮設住宅

兵庫県中西部の4町（山崎、一宮、波賀、千種）が合併して2005年に誕生した宍粟市。中でも岡山県境に近い北西部の旧千種町一帯は林業を主産業に発展してきた地域だ。ここにある県内初の連携型中高一貫校、市立千種中学校と県立千種高校で11月23日、地元産の杉材を使った木造仮設住宅の組み立て作業が行われた。地元住民らが見守る中、1時間半ほどで千種高の体育館に真新しい木造仮設住宅が組み上がった。

（大阪支社・和田武也）

今年は岡市内を襲った千種川大水害から50年の節目の年に当たる。木造仮設住宅の組み立ては中高が連携した新たな防災教育として企画され、林業の活性化にもつながるプロジェクトとして今年7月に始動した。

木造仮設住宅を建てようと考えたのは、東日本大震災の際、日本工科大学校（兵庫県姫路市豊田、内藤康明校長）の学生が被災地の岩手県陸前高田市に駆け付け、ボランティアで木造仮設住宅の建設に取り組んでいるのを千種高の原田尚昭教頭が知ったのがきっかけ。

原田教頭は内藤校長が以前に勤務していた兵庫県立東播工業高の後輩に当たる。学生が被災地で活躍する姿を見て、「まさに私が求めていた防災教育、林業の町『千種』ならではの社会貢献、そして地域興しになる」とプロジェクトを思い立ったという。

県には、「ひょうご安全の日推進事業」として防災・減災活動に取り組む団体などの活動費を補助する助成制度がある。そこで両校が、日本工科大学校と「しそう森林組合」に協力を求め、「千種災害対策プロジェクト」として共同で県に助成を申請した。交付決定を受けて7月にプロジェクトがスタート。第1弾として、千種川が氾濫した時に役立てようと、両校を中心とした半径約3キロ圏内の立体的なハザードマップ模型の製作に取りかかった。

測量には日本工科大学校が協力し、学生が中高生に測量用機器の使い方など説明しながら標高などを測定。測量で得られたデータを基に模型を製作し、11月23日に千種高の体育館で披露された。

□　□

第2弾になったのが木造仮設住宅の建設だ。中高生たちは、学生と共に東日本大震災の被災地に向かった内藤校長から木造仮設住宅の建設に取り組む意義について講義を受けた後、10月23日にしそう森林組合千種支所で木造仮設住宅に必要な壁パネルの製作に取り組んだ。材料は地元産の杉で、同組合がすべて提供。生徒たちは職人の指導を受けながら電動工具で部材にくぎを打ち付けたり、断熱材を詰めたりして次々とパネルに仕上げた。

そして、準備万端で迎えた組み立て当日。会場となった千種高の体育館には両校の生徒と先生をはじめ、地元の住民やプロジェクトの関係者らが詰め掛けた。開会式に続き、午前10時10分に組み立てを開始。柱や梁、パネルなど材料が次々に運ばれると、生徒たちは日本工科大学校の学生と一緒に電動工具やハンマーなどを手に、手際よく所定の位置に柱を取り付け、柱の間にパネルを挿入、梁や桁、屋根の小屋組みなどを次々に組み立てた。

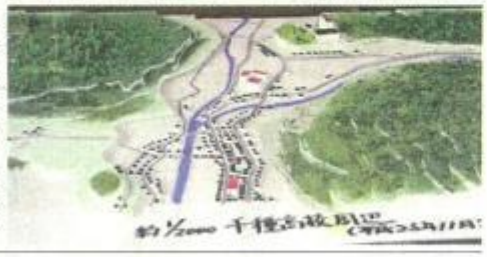
11時40分ごろ、広さ5・5㍍四方（約30平方㍍）で高さ約3・5㍍の木造平屋仮設住宅が見事に完成。最後に餅をまいて棟上げを祝った。

プロジェクトには、日本工科大学校と森林組合に加え、宍粟市千種市民局、協同組合兵庫木材センター、協同組合しそうの森の木、製材所パンリン、兵庫県建設業協会が協力し、木材の提供やパネル加工などに当たった。パナソニック電工からは電動工具、信和から体育館での組み立てに使われた足場が提供された。千種高の浅田尚宏校長は「多くの方々の協力で木造仮設住宅を建設できた。東日本大震災の被災地では木のぬくもりが感じられ、住み心地がいいと聞いている。宍粟市は市域の8割が森林でたくさんの資源がある。資源を有効活用し、林業の発展に貢献できれば」と話している。

森林組合が資材提供
中高生が組み立て

手際よくパネルを組み立てる生徒たち

千種高の体育館に組み上がった木造仮設住宅


完成した立体ハザードマップ模型

スコープ　地域振興